



平成 24 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市大字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木 下 憲 明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

「中皮腫の診断キット」に関する特許成立のお知らせ

このたび当社が出願しておりました特許、「中皮腫の診断剤、診断キットおよび診断方法」(特許第 5143018 号) が日本において成立いたしましたのでお知らせいたします。本特許は、当社と順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授 樋野興夫らとともに発明した血液マーカーの測定技術(血中 N-ERC/Mesothelin 測定)であり、中皮腫を血液検査で診断するキットに関するものであります。

【概要】

当社と樋野教授らは、本特許技術に基づく測定キットを用い、中皮腫の早期診断を目的とした大規模研究型検診を 2007 年 2 月から開始しております。本検診の受検者は、「アスベスト・中皮腫外来」(順天堂大学医学部附属順天堂医院が 2005 年 8 月に日本で初めて設立)の外来受診者、およびアスベスト曝露履歴のある東京土建国民健康保険組合員を対象としており、現在までに延べ約 12 万人となっております。

本検診は、血液検査で高値を示した人をハイリスクグループに選定し、半年に 1 回の血液検査を実施し、追跡中にマーカーの値の上昇を認めた場合、画像診断と病理診断により確定診断を行なっております。(既に発症前診断として、3 例を発見いたしました。)

当社は、本測定技術を用いた検診結果を活かし、中皮腫の早期診断のみならず、術後患者のフォローアップ等を目指し、国内での体外診断用医薬品の開発を推進してまいります。

◆ ご参考：【中皮腫について】

中皮腫(ちゅうひしゅ、Mesothelioma)とは、中皮細胞由来の腫瘍の総称です。多くの場合、石綿(アスベスト)曝露が原因とされています。中皮腫は難病の一つで、呼吸困難や息切れなどの自覚症状が出たりすることがありますが、早期診断が困難であり、治療困難な段階で発見されることが多く、予後は不良です。このように早期診断の方法と治療法の確立が急務の課題となっています。

以上